

現代文編

教科書 p. 166
～
171組
番

名前

/50

一 傍線部の漢字の読みを書け。

各1点〔8〕

- (1) 無造作に箱を置く。〔 〕
 (2) 意見に相違が生じる。〔 〕
 (3) 釣り合いをとる。〔 〕
 (4) 下馬評に左右される。〔 〕
 (5) 尻餅をつく。〔 〕
 (6) 朱塗りの欄干。〔 〕
 (7) 技が妙境に達する。〔 〕
 (8) 寺の仁王像。〔 〕

五 傍線部の漢字の読みを書け。

各1点〔4〕

- (1) ①水滴〔 〕 ②滴る〔 〕
 (2) ①褒美〔 〕 ②褒める〔 〕

六 次の各組の傍線部の片仮名を、意味に注意して漢字に直せ。

各2点〔8〕

- (1) 大きな音が気にサワる。〔 〕
 イルカの中をサワる。〔 〕
 (2) 地面に穴をホる。〔 〕
 木のうさをホる。〔 〕

二 傍線部の片仮名を漢字に直せ。

各1点〔8〕

- (1) 赤いボウシをかぶる。〔 〕
 (2) エンリョがない人。〔 〕
 (3) タイクツになる。〔 〕
 (4) イサイ承知する。〔 〕
 (5) オオゼイ集まる。〔 〕
 (6) タテ書きのノート。〔 〕
 (7) ソデまくりをする。〔 〕
 (8) ヒョウバンのよい店。〔 〕

七 次の慣用句の意味を、後から一つ選べ。

各2点〔2〕

- (1) 骨が折れる 〔 〕
 ア 相手の高慢な気持ちをくじく。
 イ 道のりが遠くて疲れる。
 ウ 困難である。労力がある。
 エ やりたい気持ちがなくなる。

三 傍線部の片仮名を漢字と送り仮名で書け。

各2点〔6〕

- (1) 本にしおりをハサム。〔 〕
 (2) タガイに思いやる。〔 〕
 (3) ナナメを向く。〔 〕

八 次の熟語と後の【語群】の片仮名を組み合わせ、四文字熟語を作り、漢字に直せ。

各2点〔6〕

- (1) 異口 〔 〕
 (2) 有名 〔 〕
 (3) 晴耕 〔 〕

【語群】

ドウオン ムメイ チシン
 ウドク ムジツ セイダイ

四 傍線部の漢字と同じ読みを含むものを、後からそれぞれ一つずつ選べ。

各2点〔4〕

- (1) 理由を話す。〔 〕

ア 由緒 イ 事由
 ウ 経由 エ 由来

九 次の中から、夏目漱石の作品を二つ選べ。

完答4点〔4〕

- (2) 素顔の写真。〔 〕
 ア 質素 イ 素描
 ウ 素地 エ 素性
- (1) ア 草枕 イ 雁〔 〕
 ウ 暗夜行路 エ 網走まで
 オ たけくらべ カ 破戒
 キ 明暗 ク 最後の一句